



榎本 市工連会長



林 横浜市長



松本 横浜市会議長



ご来賓の皆様



森 横浜市会副議長



斎藤 市工連副会長



黒田 市工連副会長



寺嶋 市工連副会長

市工連新年賀詞交歓会
平成30年1月10日 ホテル横浜ガーデンにて



よこはま市工連



No.77

目次

新年のごあいさつ	2
市工連賀詞交換会を開催	3
写真で綴る平成29年	4
地域工業会等会長へのインタビュー	7
地域工業会だより	10
横浜青年経営者会だより	21
平成30年度新入社員合同研修のご案内	22

発刊日：平成30年1月31日
編集・発行：一般社団法人横浜市工業会連合会
〒231-0023
横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル2階
TEL. 045-671-7051
FAX. 045-671-7321
URL: <http://www.y-shikouren.or.jp/>



新年のごあいさつ

(一社)横浜市工業会連合会

会長 榎本 英雄



平成30年の年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は景気回復の期間がいざなぎ景気を越え、本年度の税収が過去最高といわれていますが、会員各位はどのように実感されているでしょうか。

一方で、日本の信頼を揺るがす問題も多数発生し企業倫理も問われています。特に日本の誇るものづくりの品質の信頼性が損なわれる事態には憂慮しています。と同時に、行きすぎた株主資本主義の是正が強く求められている時代に入っていると認識しています。

道元禅師は『志を持ち努力する人』が成功するといわれました。会員各位の積み重ねてきた企業努力、ものづくりなどへの情熱が実を結ぶことを願うばかりです。

世の中は自動運転技術やEV技術が飛躍的に進歩する時代に入っています。

また、中小企業の切実な問題としては人手不足の問題があります。そういう意味でも、経営資源に限りのある中小企業では、IoT・AIなどの技術革新にも目を向けていかなければなりません。

我々市工連は、昨年の事業としてはメールでの『市工連ニュース』、また、『よこはま市工連』の発行での情報発信に努める以外、情報交換会の実施、また人材確保としては新人合同研修会、フォローアップ研修、就職懇談会、出前講座などを行い、その他の事業を含めて会員各位に貢献してまいりました。

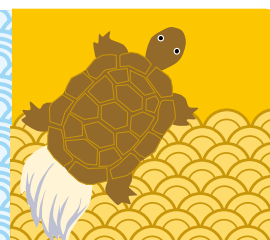
また、地域工業会も役員・事務局のご尽力のおかげでさらに活性化されてきたと思います。それに伴い、市工連として会員数の増加につながっていることはうれしい限りです。

今年も市工連としてもさらなる活性化に向け一層努力しますので、よろしくご協力をお願いいたします。



平成30年の年頭にあって

横浜市長 林 文子



あけましておめでとうございます。皆様が新たな年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、花と緑の祭典「第33回全国都市緑化よこはまフェア」や、「第50回アジア開発銀行年次総会」、「ヨコハマトリエンナーレ2017」、横浜DeNAベイスターズの日本シリーズ進出などで街に大きな賑わいが生まれ、皆様の思いが横浜を大きく押し上げてくださった年でした。

今年は、今後の市政の羅針盤となる新たな「中期4か年計画」を策定し、横浜の持続的な成長と将来にわたる市民生活の安全と安心を実現するため、市を挙げて取り組んでまいります。

横浜経済の支えである中小企業の皆様への支援、ライフイノベーション・IoTなど成長分野の育成、更なる企業誘致と市内企業とのネットワーク創出に取り組み、経済に一層の活力を生み出します。

皆様とともに高めてきた横浜の活力を確かなものとし、将来へとつなげていくために、今年も「オール横浜」で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



市工連賀詞交歓会を開催

平成30年1月10日(水)午後4時からホテル横浜ガーデンにおいて市工連賀詞交換会が開催されました。

榎本会長の挨拶、名誉会長である林横浜市長のご挨拶、来賓代表として松本横浜市会議長のご祝辞のほか、恒例のすぐれたアイデア提案者の表彰を行いました。

受彰者の皆様が常日頃から前向きに仕事を取組んでいることに対しては、心から敬意を表します。

森横浜市会副議長の乾杯のご発声で懇談が始まりました。今回からは市工連会員の皆様にも出席いただいております。

すぐれたアイデア提案者表彰受彰者

(順不同・敬称略)

企業名	氏 名	アイデアの名称
海洋電子工業株式会社	榎本 康之	解析クイックマニュアルの作成
海洋電子工業株式会社	笠石 浩二	海底探査装置社内試験用ケーブルの製作
株式会社吉岡精工	杉村ゆめみ	アルミ製スピナーテーブルにおける高平行度加工工程の開発
竹澤工業株式会社	丸澤 順一	ダクト塗装における移動回数の削減
株式会社野毛電気工業	岩田 宏治	小型風力発電、蓄電による広告塔用LEDの自動照射
株式会社芙蓉ビデオエージェンシー	中野 誠	放送局ネットワーク通信機器（インターフェース機器）内部CPU基板共通化



林横浜市長・榎本市工連会長と受彰者の皆様





写真で綴る平成29年

テクニカルショウ ヨコハマ
2017
2月1日～3日
パシフィコ横浜
展示ホールCD

新技術・新製品発表、販路拡大、ニーズ把握、新規取引獲得、技術の交流、情報の発信・収集・交換の場として商談につながったとの声も聞かれました。

入場者 31,002人
参加企業 635社
出展小間数 468小間

よこはまものづくりゾーン
出展企業79社



企業紹介フェア
2月2日
パシフィコ横浜
アネックスホール

県内の高校生を対象にものづくりや製造業に対する理解を深めるため、出展者による講演とテクニカルショウ ヨコハマ見学会を実施。高校生も講師のブースなどで熱心に質問していました。

参加者
県立磯子工業高校240人
県立商工高校 240人



講師 (株) 関東精密	杉田 勇氏	
(株) ニットー	藤澤 秀行氏	
(株) 第一鉸製作所	渡辺 堅太郎氏	右上
(株) 中村製作所	中村 謙太郎氏	左上



新入社員合同研修
4月13日～14日
帆船日本丸・研修センター

新入社員に必要なマナー等研修や帆船日本丸でなければできない体験研修（マストに登る訓練、カッター訓練等）を通してチームワークの重要性や協調性、チャレンジ精神を養います。

「座学では、コミュニケーションの大切さ、船上研修では、協調性の重要性を実感した」などの感想が寄せられました。

参加者 17社 67人
男子47人
女子20人



出前講座
5月31日
県立東部総合職業技術校

参加者 12人

経営者や技術者が、学校に出向き中小企業で働くことや求める人材、自身の経験等を話し、中小企業についての理解や、働くことの大変さ、楽しさなどを伝え、進路選択での視野拡大を目的としています。



講師 (株) オースズ 鈴木 瑞貴氏
 (株) 景泉機器 落合 正浩氏



就職に関する懇談会
6月9日
神奈川産業振興センター

市工連会員企業と高等学校等の進路指導担当教諭にご参加いただき、人材確保と地元企業への就職を図ります。

多くの学校、企業が今後もこの懇談会に出席したいというアンケート結果でした。

30年度のご参加をお待ちしております。

参加企業 50社
 参加校 20校



会員情報交換会
7月20日
ホテル横浜ガーデン

全会員企業様を対象に地域工業会の枠を越え、会員相互の交流や新たなビジネスチャンスの創出の場とする、情報交換会を開催しました。

参加者 85人



川崎ものづくり商談会
9月27日
川崎市産業振興会館

発注企業と受注企業が一堂に会し個別商談を行うことにより、新たな取引先開拓や情報収集等の機会を提供しました。

参加企業 246社
 発注企業 52社
 受注企業 194社
 商談件数 848件



**横浜市への要望書提出
11月8日
横浜市庁舎**

榎本市工連会長のほか、各地域工業会・事業会等の会長など代表者で横浜市庁舎を訪問し、中小企業の現状と課題について協議を重ね意見をとりまとめた「平成30年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を榎本市工連会長から林市長に手渡しました。



**新入社員等若手社員の
フォローアップ研修
11月17日
横浜産貿ホール小展示室**

新入社員から入社5年目までの若手社員を対象に、入社後を振り返り、身につけた能力を検証し、不足しているところや今後の課題を見つけ、これからの仕事へのヒントを学びました。

「社員、お客様に信頼される社員になりたい」「責任を持って積極的に仕事をしていきたい」など頼もしい自己宣言が出ました。

参加者 9社 14人



**出前講座
11月29日
県立東部総合職業技術校**

参加者 46人

5月のときより受講生を増やし、中小企業が求める人材等について講演しました。



講師 (株) エスプラス 加藤 真太郎氏
(株) スリーハイ 男澤 誠氏



新井さん(右)と
市工連事務局伊澤さん(左)

10月横浜西部工業会の事務局長が交代

横浜西部工業会は、保土ケ谷、旭、瀬谷区内の製造業建設業等の事業所を中心に、平成11年3月31日に結成された団体です。8年間にわたり横浜西部工業会の事務局長を務めた新井亘氏が9月末に退任され、10月から新たに金丸明昭氏が事務局長に就任しました。12月の事務局長会議終了後には新旧事務局長の歓送迎会が開かれました。

ちなみに、市工連事務局の伊澤さんも、昨年9月に前任者徳井さん退職後、新たに採用されました。



地域工業会等会長へのインタビュー

鶴見区工業会会長 寺嶋 之朗氏



会社の経営について

照明の光源は70年毎に大きな変革を遂げて来ました。ローソクから電球に、戦後は蛍光灯へ、そして最近はLED照明が普及してまいりました。

従来、業務用蛍光灯を製造販売してきた弊社にとり、外部環境の大きな変化は大変な脅威であります。弊社が得意とする食品流通分野の照明には、培ってきた技術と素早い開発力、小回りのきく生産体制を構築し、今年60周年の節目を乗り越えたいと思います。

地域工業会について

鶴見区工業会は、規模においては大企業の工場から特色を持った中小企業まで。業種においては重厚長大産業からエレクトロニクス、食品、建設、運輸業など様々な会員がいます。

共通のテーマを探し研修会を開催したり、地域に密着した地域貢献活動を実施したり、特に運営部会の若い世代の活躍が推進力となっており、会の活性化に役立っています。

会長ご自身について

幼少のころはいたずらっ子でしたが病弱でした。背は低かったのですが中学、高校と6年間バスケットボール部にいました。大学からは一転してグリークラブ（合唱）に入り、卒業後も6年間続け妻と知り合いました。サラリーマンを15年していましたが、父の創業した会社に入り30年。社長になり23年です。いつの間にか社長になり、いつの間にか工業会の会長になり、いつの間にか〇〇になりという人生を送ってきました。これからは、短い将来を見据えて生きていきたいと思っています。

神奈川工業会会長 小菅 光良氏



前列 右から2人目

景気の実感

ここ2～3年経済が低迷していると感じていましたが、この春先からは景気が回復に向かっているのを実感しており、先々にも期待がもてそうです。

しかし、仕事量も調整して受注していかないと、今度は人手が足りない状況になってしまいます。

工業会について

人手不足が厳しい状況にあることから、12月18日県立神奈川工業高校定時制3年生を対象に業界ガイダンスを開き、生徒から「企業9社の経営幹

部と直接、懇談できた」と好評でした。

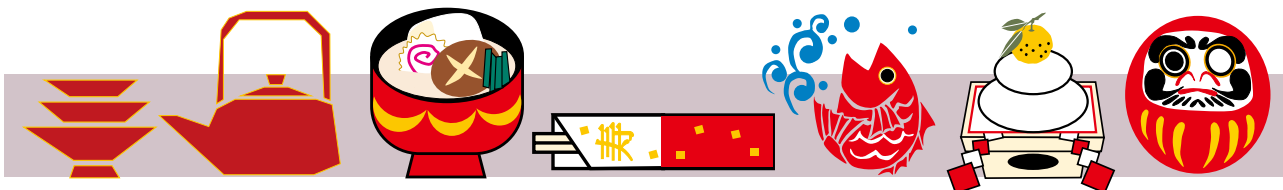
会員数の減少が続いていましたが、それも落ち着き一世代若い人たちが、役員として頑張っています。いろいろな事業に取り組んでおり、いい形でこれからの発展が望めると思います。ただ、社業も忙しい世代ですから持続できる形で、また、参加者集めも意識しながら進める必要があると思います。

工業会とはいっても製造業は5割なので、異業種交流といった側面も意識して組織の活性化を図る必要があると考えています。

会長のご趣味について

趣味というと、以前より行く回数は減ってしまいましたが、ゴルフです。また、畑を借りて野菜作りをしています。ナス、キュウリ、玉ねぎ、大根など買わなくてもいいぐらい収穫があります。ただ、張り切りすぎて先日腰を痛めてしまったので、しばらくは大人しくしています。

あとは、スポーツ特に野球観戦です。あまり球場へ出向くことはありませんが、主にテレビで観戦しています。



みなと工業会会長 加藤 卓郎氏



2017年4月京都にて

経営者としての思いについて：事業経営の基本は人、モノ、金ですのでバランスをよく配分して手を打っていくことに専念したいと思います。

将来について：国内経済の堅調な動きから2020年までは順調に推移し、それ以後は徐々に経済が縮小するとみています。会社としては、特色ある対応力、製品、技術開発特徴企業を目指しています。

地域工業会について：構成員が工業系業種から商業、サービス業、金融業の業種割合が増えています。地域で業種が混在化してくるので一般的な事業を発信するように心がけたいと思っています。

また、事業経営者が直面する諸問題をテーマにセ

ミナーや朝食会を催していきたいです。今後は、地域工業会会員相互の商売、つきあいを発生させたいと考えています。

会長のご趣味などについて

趣味：旅行、登山、カメラ、音楽鑑賞、美術鑑賞、読書

余暇の過ごし方：旅行、睡眠、温泉

ストレス発散法：独りでいること

家族：大勢集まるのが好き

ペット：犬、亀

好きな食べ物：アイスクリーム

好きな言葉：有難う

見たテレビ：日曜美術館

映画：なし

感銘を受けた本：筑摩文庫日本文学全集
谷崎潤一郎

愛読書：文庫本

自身の経歴：米国留学、海外生活

興味事項：食材、調味料、酒、ワイン、
地方の食べ物

戸塚泉栄工業会会長 黒田 憲一氏



地域工業会について

私ども戸塚泉栄工業会は、“モノづくりから ヒトづくりへ そしてマチづくり へとつなげていきます！”をコンセプトに会員企業の強化を推進するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的に活動しています。

平成23年より新たな取組みとして、地域活性化委員会を立上げ、年2回「地域活性化情報交換会」を開催しています。この情報交換会では、会員企業はもとより、ゲストの企業や、行政・諸団体にも参加をいただき、積極的な情報交換の輪が広がり、地域の活性化に役立つ交流がなされています。

また、戸塚泉栄工業会では団体としての活動利点を活かすため、“スケールメリット検討委員会”を

立上げ、インフルエンザの予防接種など、会員企業やそのご家族に通常より安価に提供させていただく様な会員サービスも実行しています。

さらに、毎年2月に開催される「ものづくり自慢展」においては、当工業会として出展ブースを設けさせていただき、モノづくりの魅力を次世代の未来ある子供達に発信しています。

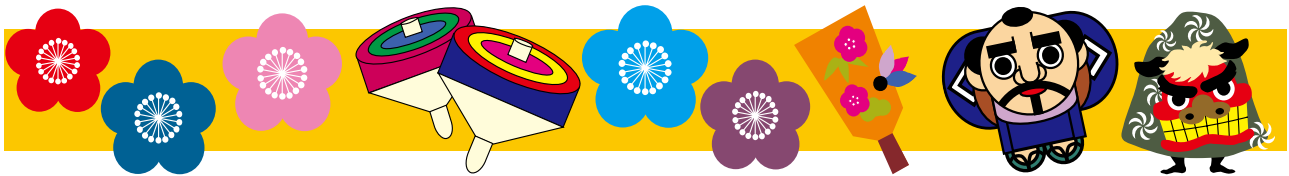
今後も新しいアイデアを出し合い、「モノづくり」の素晴らしさを次世代へ継承し、地域との密接なつながりを強め、地域の一層の活性化のため、魅力ある戸塚泉栄工業会を目指しています。

会長のご趣味について

趣味はドライブ。気の向くまま、思いのまま時を忘れてマシンを操るのは最高の贅沢であり貴重な時間です。

車そのものが当たり前の存在になっている現代にあっても、化石燃料を爆発させながらハンドルを握ると昔の夢を思い出させてくれます。

重厚なモータースポーツ雑誌のページをめくりながら、最高級なくつろぎの空間を創造することも幸せな時間となっています。



(一社) 横浜北工業会会長 秋本 順生氏 業界の状況について

残念なことに我々段ボール業界も昭和48年の石油ショックを境に、自然淘汰を繰り返し、当社が操業する新羽町内に当時36社あった段ボールメーカーが、近年では数社程度になりました。



当社は幸い操業当初から多品種小ロット、さまざまな形式箱に対応してきたことで、今日の時代に対応できたのだと思っています。

業界の動向及び会社の今後について

今日、当業界は原材料高・製品安の状態です。近いうちに物流業界と同様に、段ボール業界各社が商品の値上げの実施に進行していくのではないかと思います。このような状況に対応し、今後の当社の進展を図るために、平成28年から1年6か月をかけ

て社屋の増改築及び周囲対策である防火防災対策に重点的に取り組み、また製造機械設備では新機械を導入しました。今後の価格競争に対応できるよう様々な改善を図り、今後も一步一步当社の発展・躍進を目指していききたいと思います。

地域工業会について

会長になって5月で2期4年を迎えます。ランチョンミーティングほか、新たな取組みと会員の協力により、会員数は増加に転じているのではないかと思います。次年度も、これまでの事業活動をベースに、会員一丸となって活動をすすめていきます。

会長のご趣味等について

仕事以外では、ニュースなどのテレビを見たり、自己啓発本を読んだりしています。たまには、横浜や伊勢佐木町あたりに買い物にも出かけます。

体のためにできるだけ歩くようにしています。会社の行き帰りも歩き、多い時は1万歩近くになることもあります。

横浜青年経営者会会長 岩谷 憲和氏

青年経営者会について

この4月には任期を満了します。会員や理事の皆さんには様々な場面で応援と協力を得ており、従前を引き継いだ、相互の思いやりあふれる団体として成長し続けていると思っています。青経会会員は、一つの製品を何社も関わって完成させるという製造業の特性のとおり、互いの横の繋がりが太く長く、時に網目の様に続いています。建設業という異業種の私だからこそ見えてくる当会の独自の良好な団体個性を、引き継ぐ皆さんに自覚してもらい、意識は内向きに、活動は外向きに進むべく伝えていきたいと思っています。

会長のご趣味について

長く続けている私の趣味は、キャンピングカーで道の駅をたどっていくことです。きっかけは、34歳で起業した頃、毎日、深夜2時位まで仕事をしていたので、土曜日の夜だけは22時過ぎに帰宅し、子供たちを寝たまま車に乗せ、翌朝には県外の道の

駅で起床ということを始めました。

今年の夏に、これからは夫婦二人で使えるキャンピングカーにしようと車選びに行ったのですが、結局、また大きい車両を買ってしまいました。家族とのこの活動で得た結果は、お金や時間の量で賄えるものではなく、必要な時に必要なことができたかどうかに尽きます。今度の車は、いずれ子供たちとその子供たちが利用することになりそうですが、私同様、自分にとって大事な物の順序をよく理解して利用して欲しいと思っています。





工業会だより

鶴見区工業会

(鶴見区)



平成 28 年度合同地区懇談会の開催

平成 29 年 2 月 23 日（木）、㈱松尾工務店 5 階講堂において参加者 49 人で開催。第一部は、前・福島第一原子力発電所長 小野明氏を講師にお迎えし、「福島第一原子力発電所長を経験して」の演題でご講演いただきました。



第 35 回通常総会

(平成 29 年度市長／会長表彰式) の開催

5 月 23 日（火）、ホテル横浜キャメロットジャパンにおいて開催。市長／会長表彰の受賞者は 7 人で、その後の懇親会は総勢 105 人で盛大に行われました。



29 年度 運営部会 研修交流会の開催

中小企業での人手不足が顕在化している現状を捉え、「採用難時代をどうのりきるか」を研修テーマに 7 月 14 日（金）15 時、ベストウエスタン横浜鶴見を会場に参加者 45 人で開催。第

1 部「セミナー1」では、社会保険労務士を講師に「メンタルヘルスについての基礎講座」を行い、「セミナー2」では、工業高校・大学・職業技術校合わせて 4 校の就職担当の先生方に「就職に関する考え方、就職動向」を中心に各校の状況等についてご説明いただきました。



た。

第 35 回ボウリング大会の開催

10 月 5 日（木）、川崎グランドボウルで開催。今回は、16 社 26 チーム 78 人（うち女性 20 人）の選手のほか応援・お手伝いで 21 人、総勢 99 人での開催。

2 ゲーム競技の結果、3 社混成企業チーム



が初めて団体優勝を飾りました。

平成 29 年度日帰り研修の開催

11 月 9 日（木）、日帰り研修を 27 人の参加で開催。①開通前の「神奈川東部方面線（仮称）羽沢横浜国大駅（12 月 11 日名称決定）、②電気事業 120 年の歴史「電気の史料館」、③熱効率 世界最高水準「東電・川崎火力発電所」の 3 か所を見学、最後に麒麟「ビアポー





工業会だより

神奈川工業会

(神奈川区)



小菅会長

平成 28 年の会員向け行事

賀詞交換会 1 月 18 日 (水)

失敗した社員を成功に導く 2 月 9 日 (木)

社内の様々な場面で失敗した社員のモチベーションを回復、向上させて行くメンタルプログラム。当会神奈川警備保障平林尚子社長が講師を務め、机のない椅子席で出席者が向かい合って、様々なプログラムを学びました。



日産スカイライン、自動運転体験会 2 月 14 日 (火)

スカイライン試乗会を 3 年ぶりに開催していただきました。「超クルマニア会員」が鼻息粗く夏島に大集合。570馬力、65kgトルクのロケットかと思われる加速体験、ノートeパワー、自動運転セレナの運転体験をしました。日産関係者様に厚く御礼申し上げます。

横浜市経済局予算説明会 4 月 17 日 (月)

県立神奈川工業高校定時制就職担当教諭との意見交換会 5 月 30 日 (火)

平成 29 年度総会・懇親会 6 月 8 日 (木)



横浜市優良工業従事者表彰

お客様確保術「街ゼミ」 6 月 10 日 (土)

当会協賛にて企業の営業活動にも通じるマインド形成講習を開催。街ゼミ活動の創設者松井洋一郎先生が講演。

県立神奈川工業高校定時制「業界ガイダンスブース参加 6 月 19 日 (月)

地元神奈川区の工業系団体としてブースを設けていただき、会員企業が参加しました。

暑気払 8 月 25 日 (金)

会員企業従業員とともに開催。毎回景品が豪華に！



ドローン講習会 10 月 12 日 (木)

横浜市経済局主催でドローンの初歩的な机上学習、飛行体験をTBS緑山スタジオにて開催しました。



労務研修会 11 月 14 日 (火)

企業幹部として「問題社員」、「精神疾患」他の心得を学びました。



工業会だより

みなと工業会

(西区・中区)



加藤会長

納涼事業

夏の夜のひと時を南極物語で楽しみました！

夏一番となった8月2日(水)18時より、横浜国際ホテルにて52名が出席し、Bar De 南極料理人Mirai 篠原洋一氏をゲストに開催しました。



見学会

宇宙開発の中核、筑波宇宙センターを見学しました！

10月5日(木)21名の参加で、筑波宇宙センターを見学、横浜に戻り「味蕾亭」にて懇親を深めました。



経営者セミナー&忘年会

直木賞作家山本一力氏をゲストに開催しました！

12月5日(火)17時30分より、大珍樓新館において55名が参加し、ゲストに直木賞作家山本一力氏をお迎えし「行き方雑記帳2017」と題して開催。

八方塞がりの状況も力強く乗り越えてきた経験に基づく仕事観、人生観などを講演いただきました。



経済局との意見交換

8月29日(火)15時より、松村ビル別館において、経済局より中村課長以下6名、当会より加藤会長以下政策部員7名が出席し、当会より中小企業振興対策等5項目を提起し率直に意見交換を行いました。



平成29年度の朝食会 第294回～301回

§ 第294回 4月19日(火)

「平成29年度横浜市政について」

～横浜市中期4ヵ年計画を踏まえて～

横浜市副市長 渡辺 巧教氏

§ 第295回 5月16日(火) 32名

「有期契約労働者の無期転換ルール」

平松社会保険労務士事務所 平松 洋子氏

「会員間の意見・情報交換」

§ 第296回 6月20日(火) 50名

「社長雑感」～私の歩んだ人生・経営理念～

(株)ありあけ代表取締役会長 藤木 久三氏

§ 第297回 7月18日(火) 36名

「企業の安全配慮義務とリスクアセスメント」

中災防教育推進部審議役 鈴木 博仁氏

§ 第298回 9月19日(火) 38名

「健康経営の推進に向けて」～企業における健康経営の取り組みの重要性～ 経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課課長補佐 山本 宣行氏「横浜健康経営認証制度」について

経済局ライフイノベーション推進課

担当課長 森田 伸一氏

§ 第299回 10月17日(火) 44名

「企業とコンプライアンス」～会社を不祥事から守るために～ 東京海上日動リスクコンサルティングマネージャー 篠原 誠治氏

§ 第300回記念朝食会 11月21日(火) 68名

設立以来開催の朝食会も300回を迎えました！

「人口成熟に向かう横浜と日本の活路」

(株)日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介氏



異業種交流サロン 第116回～第123回

§ 第210回 9月20日(木) 工場見学

今年度は、異業種交流サロンメンバーを中心に14名が参加し「ジャパンマリンユナイテッド(株)横浜事業所 磯子工場」を見学しました。





工業会だより

南事業会

(南区)



斎藤会長

キリンビバレッジ
湘南工場見学会を実施しました。10月6日(金)



工場の紅茶・お茶など主な製造品目、1日の最大製造本数が250万本であることや、茶葉から紅茶を抽出し、ペットボトルに充填して包装・出荷するまでの生産の流れをととてもわかりやすく説明していただきました。

そしていよいよ工場見学の開始です。エアーシャワーを体験して、見学コースの通路から工場の様子を見ながら進みました。無菌の充填エリアで紅茶がペットボトルに詰められた後、ラインの流れを調整しているアキュムにならんだ何千本ものペットボトルはまさに壮観といえるものでした。遠くからでは細部が見えない工程は、通路途中でもタイミングよく動画が映し出されたり、付き添っていただいた社員の方に質問して回答いただいたり、とても充実した製造工程の見学となりました。

経営者セミナーを実施しました。

11月15日(水)

今回は、弁護士佐藤裕様の暴力団対策についてのセミナーの話を聞かせていただきました。その講演は歯切れよく、弁護士のお仕事の話も含めて、とても分かりやすい内容でした。

「暴力団対策法」は、口止め料の要求、寄付金・賛助金などの要求、みかじめ料の要求、用心棒代の要求、高利貸しなどの債権取り立て、地上げ、賭博など、ざっと27項目を指定暴力団、準構成員、そして暴力団と一定の関係にある者に対して禁止事項としています。暴力団の威力を示して以上のような行為があった場合は警察が捕まえてくれる訳です。

どうしていいか分からなくなった時には、迷わず警察、暴力追放推進センター、そして佐藤裕先生へ連絡・相談しましょう。神奈川県弁護士会約1600名登録のうち暴力団対策に対応してくださる先生はわずか20名ほどとか。その中のひとりである佐藤裕先生は強い味方です。





工業会だより

港南区工業会

(港南区)



第36回通常総会

5月25日(木)「第36回通常総会」が開催されました。今回より会計報告時にプロジェクターを積極的に用い、よりわかりやすくポイントに集中した説明がなされました。総会終了後の懇親会では、新入会員3社の紹介もあり、楽しい歓談のなか盛会のうちに閉会となりました。



バーベキューイベント

9月30日(土)コミュニティー若手会主催で、三崎港にてバーベキューイベントを実施しました。今年度は研修旅行が無いので、日帰り旅行を兼ねた企画にしました。天候にも恵まれ、バーベキューの他に、観光船で海風を満喫、日帰り温泉で癒され、楽しい1日を過ごすことができました。新しい企画で参加者皆さんに喜んでいただけました。



こうなん子どもゆめワールド

11月4日(土)こうなんふれあい公園をメイン会場として開催されました。港南区内では最大級のイベントです。天気も良く多くの人出でにぎわいました。例年、当会は、焼き鳥・ポテトのブースを出店しています。稲村会長のもと会員一丸となって頑張り今年も完売しました。年々行政はじめ地域に当会の知名度が増していくのを実感します。次年度は当会そして各会員の事業所をさらに地域の皆様に知っていただけるよう企画して臨む予定です。



セミナー&忘年会

11月27日(月)当会会員(株)イータウン代表取締役齋藤保氏による「誰でも簡単! スマホやパソコンを活用したSNSやFacebookの魅力を学んでみよう」と題してセミナーを開催。講演後の忘年会は2時間にわたり、談笑に花が咲きました。

今後の会のますますの活性化、発展を願っています。





工業会だより

横浜西部工業会

(保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区)



平成29年度に実施した主な事業をご紹介します。

経営者セミナーを開催

9月27日(水) J A二俣川支店会議室で、「金融機関融資における経営者保証について」と題して、財務省関東財務局横浜財務事務所次長の秋澤光男氏から経営者保証のガイドラインの策定の背景・経緯、概要の説明、活用に係る事例等の話を伺いました。



職員の案内で店内窓口業務の説明、日銀の役割など説明がありました。2階の会議室ではビデオを利用して紙幣の発行、流通、管理など説明し、紙幣の重量体験、硬貨の重さ、展示品など見て体験しました。次に、横浜シルク博物館では特別展「かいこと暮らす」が開催中で、館長の案内で展示物の説明がありました。



日本銀行横浜支店 2階会議室

親睦研修旅行

10月19日(木)、20(金) 1泊2日の日程で初めて横浜商工会議所西部支部との共催で福島県へ研修旅行に行きました。

初日は当会会員の大協製作所福島工場と古関(株)工場を見学し、特色ある工場に見学者全員が関心をもって充実した会となりました。

二日目は秋の福島の野口英世記念館、鶴ヶ城、大内宿、塔の福島へつりを見学し会員間の親睦を大いに深めた楽しい旅でした。



横浜シルク博物館

健康管理セミナーを開催

12月8日(金) J A二俣川支店会議室で、「認知症の理解と予防について」をテーマに、保土ヶ谷区高齢・障害支援課担当係長の保下真由美氏から、認知症の病気の理解と対応、認知症になっても暮らし続けるための取組み、健康で暮らすためにできることなどの話を伺いました。また、最後に区制90周年を記念し、高齢者が座ったままできる体操を行いました。



座ったままできる体操

地域セミナーを開催

11月9日(木) 日本銀行横浜支店、横浜シルク博物館を見学しました。最初は日本銀行横浜支店、



工業会だより

磯子事業会

(磯子区)



長谷川会長

平成29年度の磯子事業会の主な活動を紹介します。

磯子まつりに参加

10月1日(日)、磯子区制90周年記念式典が行われ、同日開催された磯子区主催の第41回「磯子まつり」に参加しました。雲ひとつない秋晴れのもと、「磯子まつり」は1000個の風船とばしでスタート。磯子区総合庁舎前の産業道路ではパレードや出店のほか、家族で楽しめる企画が目白押し。その中で磯子事業会は、お子さま向けのポップコーンや、事業会所属の各企業が用意した商品・ノベルティを配布し、「磯子まつり」を盛り上げました。

磯子区と「地域活性化に関する包括連携協定」を締結



磯子区制90周年を契機に、磯子事業会は「磯子区との連携関係を更に強め、地域貢献活動を行いたい」と提案し、10月1日に「地域活性化に関する包括連携協定」を締結しました。

本協定は、事業会が地域・団体を支援する際、①区役所保有の地域情報を事業会と共有すること、②事業会と地域・団体との関係づくりを区役所が支援・調整することを含んでおり、これまで個別に磯子区と行ってきた事業会の地域連携事業を、体系的に分かりやす

く表現し、今後の取組みが明確になりました。

磯子事業会は、会員企業のリソースを有効活用し、より良いまちづくり・地域振興・地域活性化に引き続き寄与してまいります。

施設見学会を実施

10月17日(火)、ニュースパーク(日本新聞博物館)と、海上保安資料館・横浜館の見学会を行いました。ニュースパークでは、日本初の日刊新聞「横浜毎日新聞」等の展示物を見学。ラジオ・テレビ・インターネットなど新しいメディアが登場し、情報化が急速に進む現代社会における、新聞、ジャーナリズムが果たす役割を改めて認識する機会となりました。また海上保安資料館では、九州南西海域工作船事件の工作船を見学。日本の巡視船の正当防衛射撃を受けた弾痕が数多く残る船体が展示されており、北朝鮮情勢の緊張感が高まる昨今、我が国周辺海域の現状と海上警備の重要性を学びました。





工業会だより

金沢区工業団体工業会

(金沢区)



松村会長

金沢臨海部産業地域の新名称決定

金沢区工業団体連絡会臨海部では、平成27年度から、金沢臨海部産業活性化事業として、地域のブランド力を高める方策の検討について、横浜市経済局及び金沢区と連携して取り組んでまいりました。

29年度は、その一環として、金沢臨海部産業団地に新名称を決定する活動を実施しており、このたび「金沢臨海部名称決定会議」において新名称を決定することができました。

この新名称は、「働く魅力のある（人が集まる）地域」実現のための、『キャッチコピー』『コンセプト』を打ち出すという方針に基づき、若者、求職者を主な対象として検討されました。

産業団地内で働く社員へのアンケートに加え、近隣の住民及び市民から、イベント、WEB等を活用した170を超える投票・意見等により、地域特性を反映した新名称が決定されました。

新名称：リンカイ

表 記：LINKAI

りんかい（LINKAI）は、LINK：絆／つながりとAI：合う／愛の2つの意味を表す言葉です。

----- ロゴマーク&タグライン -----



つながあい、えがくみらい

LINKAI

ロゴマークとタグラインは、豊かな自然の中（海、空、太陽）にある金沢臨海地域を背景に、建物で産業団地及び住宅地を表現し、手を取り合う人々の絆と地域結束を海の波で結び、躍動感を表し、未来へ向かうことを画いています。

ステートメントは、「過去から未来へ」を表現しています。

かつて海だったこの土地に、働くことで人が集まり、創ることで産業を発展させ、その地域に住んで、楽しむ……全てを育み「LINK（つなが）AI（合い）」ながら、新たに集う人々と共に、未来を目指す方向性を示しています。

-----ステートメント-----

かつて海だった横浜の景勝地に、
働く - 創る - 住む - 楽しむことを
育んできたこの場所は、
ネットワークを生かして、
日々、街の力が生まれている場所。

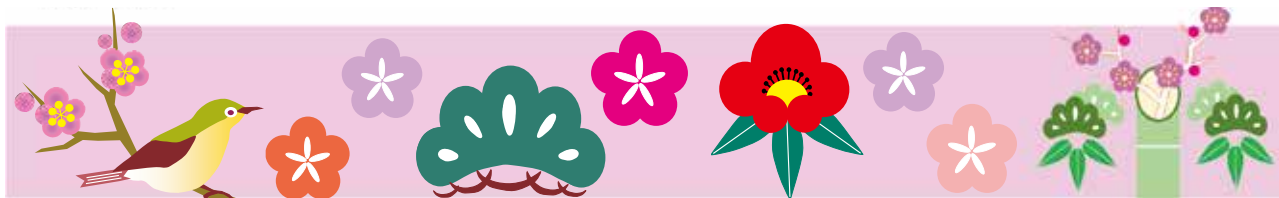
LINKAIをつくった人たちと、
LINKAIを支えていく人たちが、
LINKAIに来る人たちと一緒に、

つながあい、えがくみらい

つながることで見えてくる、
あたらしい道、どこにもないもの、豊かな生き方

自分たちだけでは、
気づけなかったことが、
LINKAIにはある。

大都市「横浜」と歴史・自然（海）の街「金沢」を背景として、「リンカイ」という言葉が持つ強さがイメージされ、内外に十分なコンセンサスを得られるとともに、この名称をもって、産業団地のエリアのみならず、金沢区臨海部が持つブランド力のアピールに寄与できると考えます。



横浜市金沢団地協同組合

平成29年に行った、金沢団地組合の「明るく元気な団地づくり」活動について紹介します。

第1回バーベキュー大会開催

平成29年6月23日（金）梅雨の合間の夏日に、横浜ベイサイドホテルBBQパークにおいて、組合主催第1回バーベキュー大会が開催され、16社173人が一堂に会して楽しい一時を過ごしました。



ココチャレツアー実施

平成29年11月16日（木）「職住近接」で働き続けるための仕組みづくりの一環として、復職を希望する並木に住む主婦9人に対して、団地企業見学を行い、NPO Reライフスタイル（株式会社グーン）及び株式会社武居商店を見学しました。



ツアー参加者と理事長

（株）武居商店

NPO Reライフスタイル

バス通り花壇活動

11月の鳥浜の風物詩となったバス通りの美化活動も12年目を迎え、今年も組合員の手で、180箇所の花壇に3600本の草花の苗を植えられました。花が満開となる春が楽しみです。



鳥浜工業団地一斉清掃

鳥浜工業団地内「一斉清掃日」の活動も始めてから早くも3年目になりました。毎回90リットルの袋約50個以上集積されます。



金沢中央事業会

平成の時代も30年を迎え、これからの時代と、どう向き合うのか、ポジティブ度が問われます。

自衛隊東富士演習場見学会

平成29年8月27日（日）に、自衛隊富士総合火力演習を見学しました。子供を含め10名が参加し、間近で見るミサイルや戦車の轟音と爆音に、大人もびっくり。普段みることのない、迫力の見学会となりました。

第29回ボウリング大会

10月30日（月）恒例のボウリング大会を開催しました。参加者が20名と少数精鋭!で職場の仲間とつかの間の親睦となったことと思います。会場のスポーツ八景ボウルでは、高校生たちや中高年で賑わっており、ボウリング人気がジワジワと復活しているのでは?という印象でした。

来年は30回を迎える大会、期待しています。





工業会だより

(一社)横浜北工業会

(港北区・緑区・青葉区・都筑区)



秋本会長

横浜北工業会の持続的発展を目指して 平成 29 年度事業の推進

北工業会は、総務、組織広報、事業企画、工業振興、厚生 の 5 委員会に理事は必ず所属し、工業会の運営方針の共有や事業を検討し実施しています。

直近の傾向としては、月 1 回の定例勉強会（ランチョンミーティング）や慶応大学、先進都市との事業連携などの機会を立ち上げ継続した結果、総会や賀詞交歓会などの会員の交流の場に、少しずつですが今まで参加していただけなかった会員企業が、増えて来ています。

会員企業の推移は、昨年度は、入会企業が10社、退会 1 社、9 社増と実に18年ぶりの会員企業の増加となり、今年度は10月現在で、入会 5 社、退会 6 社ですが、現状維持はできそうな見込みです。

以下 29 年度主な事業の実施状況を紹介します。

ランチョンミーティング

中小企業の経営課題や時事などのテーマを、昼食をとった後に講師との質疑を通じ、会員の実践的な対応策の検討や勉強の場としています。29 年度は 1 月の賀詞交歓会の時期を除き 11 回開催する予定です。



- 4 月:第 1 回 (中小企業の支援策と活用を考える)
- 5 月:第 2 回 (住工混在と地域との共存を考える)
- 6 月:第 3 回 (中小企業の人材不足の対策を考える)
- 7 月:第 4 回 (中小企業の障害者雇用を考える)
- 8 月:第 5 回 (中小企業の財務戦略 ～事例で得する銀行融資の受け方～)
- 9 月:第 6 回 (中小企業の人材不足と働き方改革)
- 10 月:第 7 回 (自社の P R 戦略を考える)
- 11 月:第 8 回 (I o T 技術の動向と環境情報システム)
- 12 月:第 9 回 (中国、欧米の現状、進出企業の今)
- 2 月:第 10 回 (電力供給でバカを見ない方法を考える)
- 3 月:第 11 回 (行政の支援策を活用した設備等の整備)

北杜市企業との交流会

平成 27 年度から交流を開始、今年度は 3 年目を迎え、北杜市、北工共に各 17 社、合計 34 社が参加し、部品製作、技術協力、鋼材共同購入、海外視察など具体的な事業について意見交換が行われました。

平成 29 年 10 月 20 日 (金) 7 : 30 ~ 19 : 30

北杜市 : (株)ミラプロ社視察



先端的事業の紹介 横浜北工業会 : 一幸電子工業(株)
北杜市 : (株)桂精機製作所

台ヶ原宿・山梨銘醸酒蔵見学



慶応大学・横浜市・北工業会産官学連携

平成 27 年度から 3 年目を迎え、慶応大学の研究シーズの紹介や産学連携事業に参加する中で具体的な事業成果も生まれてきています。

(1) 10 月 : ビジネス創発研究会への参加

人の感情やストレスを感じる際の脳波を正確にとらえ、センサーで表すことの研究開発の紹介



(2) I o T 技術の動向と環境情報システム (再掲) 松本教授の講演 (神奈川法人会との合同セミナー)



工業会だより

戸塚泉栄工業会

(戸塚区・泉区・栄区)



黒田会長

スケールメリット活動実績

(1) 一般病院より安い値段でお願いした病院が会員企業へ出向き、従業員にインフルエンザの予防注射を行いました。

平成29年は10月に実施する計画でしたが、全国的にワクチン不足が発生して実施が危うい状況に置かれました。にもかかわらず、病院の努力で11月に実施することができました。

(集団インフルエンザ予防接種実績)

平成28年度実績	→	平成29年度実績
16社 237人		22社 996人

(2) 会員企業が車を購入する際、現在使用しているリースメーカーより安価なリースメーカーを紹介する活動です。

(安価な車リース紹介活動実績)

平成28年度実績	→	平成29年度実績
0社 0台		4社 13台

企業視察研修会

平成29年11月7日・8日の1泊2日で富山県にある「(株)竹中銅器」と当工業会の「かがつう(株)」の2社の工場見学を実施しました。



(株) 竹中銅器



かがつう(株)

かがつう(株)は1946年設立、国内2工場をはじめ海外に4工場を展開、主に「乾電池のケース・照明器具・情報通信器具の部品」を生産。

(株)竹中銅器は富山県高岡市の鋳物団地で「銅像・胸像・ブロンズ像」を生産。

かがつう(株)においてはムリ・ムダ・ムラを省き、合理化されたライン生産に感心しました。また、(株)竹中銅器は特殊技術のため、鋳物加工のロット生産に興味深く見学をしました。

地域活性化情報交換会

平成29年12月4日(月)・戸塚区総合庁舎(多目的スペース)において195人の参加者で第13回目の情報交換会を実施しました。この会は平成23年

から始めたもので7年が経過しました。

そもそこの情報交換会は戸塚泉栄工業会のメンバーが中心となって地域の活性化に貢献したいとの思いから、「あらゆるジャンルの企業・諸官庁・諸団体等が一堂に会して理解を深めるのが第一である」という考えで、実施する様になったものです。

今までこの会の実施場所は第1回から第13回まで戸塚区内でしたが、それなりの成果があったのではないかと考え、今後更なるこの会の活性化のために泉区・栄区での実施を検討しているところです。



新入会員の紹介 (平成29年1月～12月)

会社名	株式会社 ケイサントクシー	株式会社 アドヤン
所在地	泉区岡津町 1065-1	泉区中田北 1-10-15-305
代表者	代表取締役 岩崎 高広	代表取締役 橋本 岳子
業種	旅客自動車運送	広告代理店
TEL.	045-812-1178	045-410-7613
FAX.	045-813-2552	045-410-7614
従業員数	180人	2人
創業	平成9年設立	平成17年設立

株式会社 as one	株式会社 横浜リテラ	株式会社 山田建設
戸塚区倉田町 378-2-110	戸塚区上矢部町 1965-4	戸塚区吉田町147
代表取締役 伊東 一輝	代表取締役 星野 匡	代表取締役 山田 一元
生前・遺品整理	紙器印刷	建設業
045-900-2505	045-811-2821	045-871-1155
050-3737-9031	045-811-2128	045-871-6044
6人	180人	18人
平成26年設立	昭和8年設立	昭和29年設立



青
経
会
だ
よ
り

横浜青年経営者会



定例会 1

7月7日に「世界に誇る自衛隊設備並びに隊員活動を知る」をテーマに海上自衛隊横須賀基地を視察しました。普段はあまり目にしない自衛隊内部の活動やさまざまな設備を見学し、日本が世界に誇る製造技術を知ることができました。



家族親睦会

「横浜スパークリングトワイライト」に合わせ7月15日に開催し、155名の皆様が参加しました。会場では美味しい食事と飲み物、そしてテーブルマジックで盛り上がりました。昨年に続き、子供向けに輪投げや射的を楽しめる「えんにち」を出展。

メインイベントの花火鑑賞では、屋上のガー

デンチャペルから迫力のある花火を見ることができました。



定例会 2

9月22日に「他業種から学ぶ新規分野への挑戦!」と題し、水耕栽培の装置販売及び水耕栽培植物工場を営む株式会社アグリ王様を視察。建設会社から水耕栽培を始めたきっかけや自社栽培した野菜の販路開拓など新規分野へ挑戦するご苦労や楽しさを学びました。懇親会では同工場にて採れた野菜を使った料理を美味しくいただきました。



定例会 3

11月17日に「怒りを味方につけるテクニック・アンガーマネジメント」と題し元サンケイスポーツ新聞社記者の瀬戸口仁氏を講師にお迎えし、怒りをコントロールしエネルギーに変えるテクニックなど、ワークショップを交えてご講義いただきました。



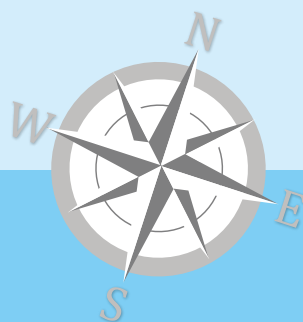


市工連 「平成30年度新入社員合同研修」のご案内

市工連「新入社員合同研修」では、座学研修（マナー研修、電話応対、異世代コミュニケーション、グループ討議等）や帆船日本丸でなければできない、体験研修（マストに登る訓練、カッター訓練等）を通してチームワークの重要性や協調性、チャレンジ精神なども養います。企業人としての自覚と責任感を引き出し、組織の新しい力を育てます。ぜひご参加をご検討ください。



日 時：平成30年4月12日（木）～4月13日（金）1泊2日
会 場：帆船日本丸・研修センター（横浜市西区みなとみらい2-1-1）
定 員：56名（先着順）
受 講 料：地域工業会会員企業 30,000円／人（税込）
お申込み：（一社）横浜市工業会連合会
TEL.045-671-7051
FAX.045-671-7321
担 当：斎藤 E-mail: soumu4@y-shikouren.or.jp
申込書は、HP（<http://www.y-shikouren.or.jp>）からダウンロードできます。



「r.a.k.u.」を導入してビジネスチャンスを見逃しません。

「r.a.k.u.」(rapid approach by knowledge use)とは、基幹システムを経営・業務・情報の三位一体で考えてコアビジネスを発展させ持続的に企業価値の向上を実現する超高速構築サービスです。

「r.a.k.u.」は刻々と変化するビジネス環境に対して、迅速および柔軟に対応していけるようにベンダー依存しないオープンな手法で構築することで、永続的に陳腐化しない基幹システムの運用を実現します。

また、企業価値優先によるコアシステムを中心に構築するので、無駄のないローコストによる高い投資効果を可能にしてROIの向上を実現します。

ITbook 株式会社

〒105-0001 東京都虎ノ門3-1-1 虎の門三丁目ビルディング5階

電話：03-6435-8711

URL：<http://itbook-blueline.jp/>

Mail：sadano@itbook.co.jp 担当：定野（サダノ）



ITbook Blue Line



累計 **49,000**名超受入れ



平成29年度アイム・ジャパン
ポスターコンクール最優秀作品

「外国人技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」
平成28年11月28日公布され、平成29年11月1日から施行されました

－技能実習制度の拡充4年5年目の実習が可能－

新法では、優良な実習実施者（受入企業）・監理団体に限定して第3号技能実習生の受け入れが可能となります。そのためには、優良な監理団体・受入企業、2号実習生（3年目の実習生）が技能検定3級の実技試験合格が要件となりました。また、優良な監理団体等における受け入れ人数枠の拡充が行われます。

アイム・ジャパンは、新法における「一般監理団体」
（優良監理団体）の許可を受けました

－アイム・ジャパンの特長－

1993年の外国人技能実習第一期生受入から現在まで、累計49,000名以上のインドネシア・タイ・ベトナム・バングラデシュ政府派遣の外国人技能実習生を受け入れています。入国後の集合講習において、雇入れ時教育（KYTを含む）、特別教育（クレーン運転、アーク溶接）を実施し、5トン以上の床上操作式クレーン運転・1トン以上の玉掛・フォークリフト運転技能講習取得の支援を行っております。

アイム・ジャパンの帰国実習生は、日系企業や現地企業に就職し、スーパーバイザーとして活躍、起業して経営者となっています。

<http://www.imm.or.jp/>

問い合わせ・資料請求

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3ユニソ堀留町二丁目ビル
アイム・ジャパン特命担当 藤川 TEL:03-5645-5622

充実のサービスで横浜で働く皆様をサポート!



横浜市が実施する
市内中小企業向けの
福利厚生サービス

「ハマふれんど」は横浜市勤労者福祉共済の愛称です。

新規加入事業所募集中

サービス一例



各種慶弔給付金(品)

- お子様が小中学校入学の際
5,000円の祝金+2,000円相当の祝品 など



人間ドック等補助

- 年度1回5,000円補助



宿泊補助

- 年度最大10,000円の補助



レジャー補助

- 市内・近隣の遊園地、水族館、プール など



コンサート・観劇等チケット

- 人気コンサート・観劇・美術展等のチケット
を会員価格で販売



スポーツ観戦チケット補助

- 市内の各プロスポーツチーム観戦チケット
補助



スポーツ大会

- 主催スポーツ大会開催
ソフトボール・フットサル など



BS ベネフィット・ステーション

総合福利厚生パッケージサービス。全国の映画・
フィットネスクラブなどの会員特典利用

ひとり
月々 **500** (事業主負担)
円でお得なサービスがいっぱい!

※加入は、横浜市内にある従業員 300 人以下の事業所(企業・商店など)単位です。 ※一部利用数・期間等が限定されているサービスもあります。

資料請求・ご質問はこちらまで。お気軽にご連絡ください。

横浜市勤労者福祉共済 ハマふれんど

〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館5F

045-662-4435

受付時間 平日 8:45~17:15 <https://www.hamafriend.jp>

PC・スマホサイトでサービス内容をご覧
いただけます。資料請求もできます。

ハマふれ



※この広告に記載の内容は平成29年11月現在のものであり、予告無く変更する場合があります。

横浜市